

令和6年 t-PA治療実績 (令和6年1月～令和6年12月)

※横浜市救急隊が搬送した傷病者に対する治療実績

1 報告件数

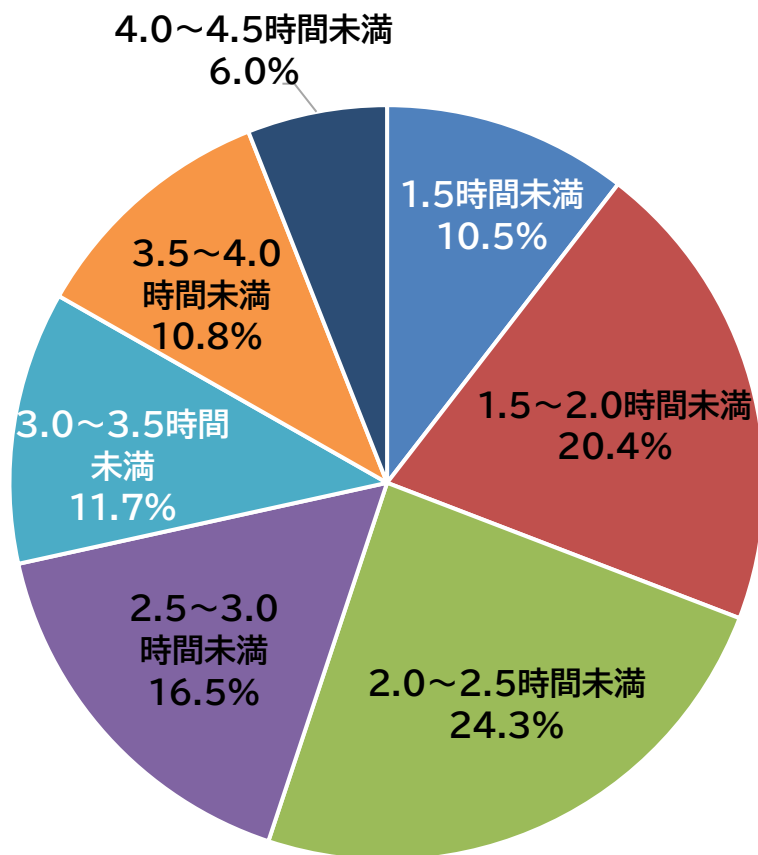
性別	人数(割合)
男性	187(51.2%)
女性	178(48.8%)
報告数	365

2 年齢分布

年齢	人数(割合)
～19	0
20～64	50(13.7%)
65～74	66(18.1%)
75～	249(68.2%)

※年齢幅は37歳～105歳、平均年齢 78歳

3 発症時刻からt-PA療法 開始までの時間(hr)

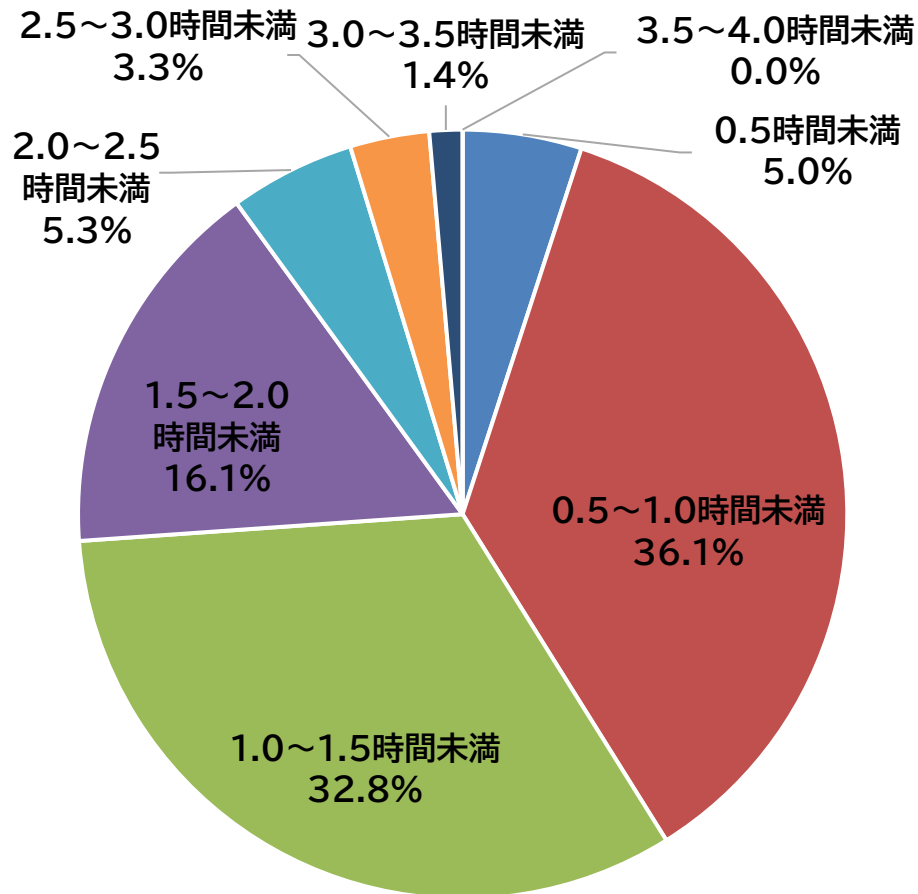


334名

平均時間 : 2時間30分

中央値 : 2時間28分

4 病院到着からt-PA療法 開始までの時間(hr)



360名

平均時間 : 1時間13分

中央値 : 1時間08分

5-1 横浜市のt-PA治療実績と市販後調査実績との比較

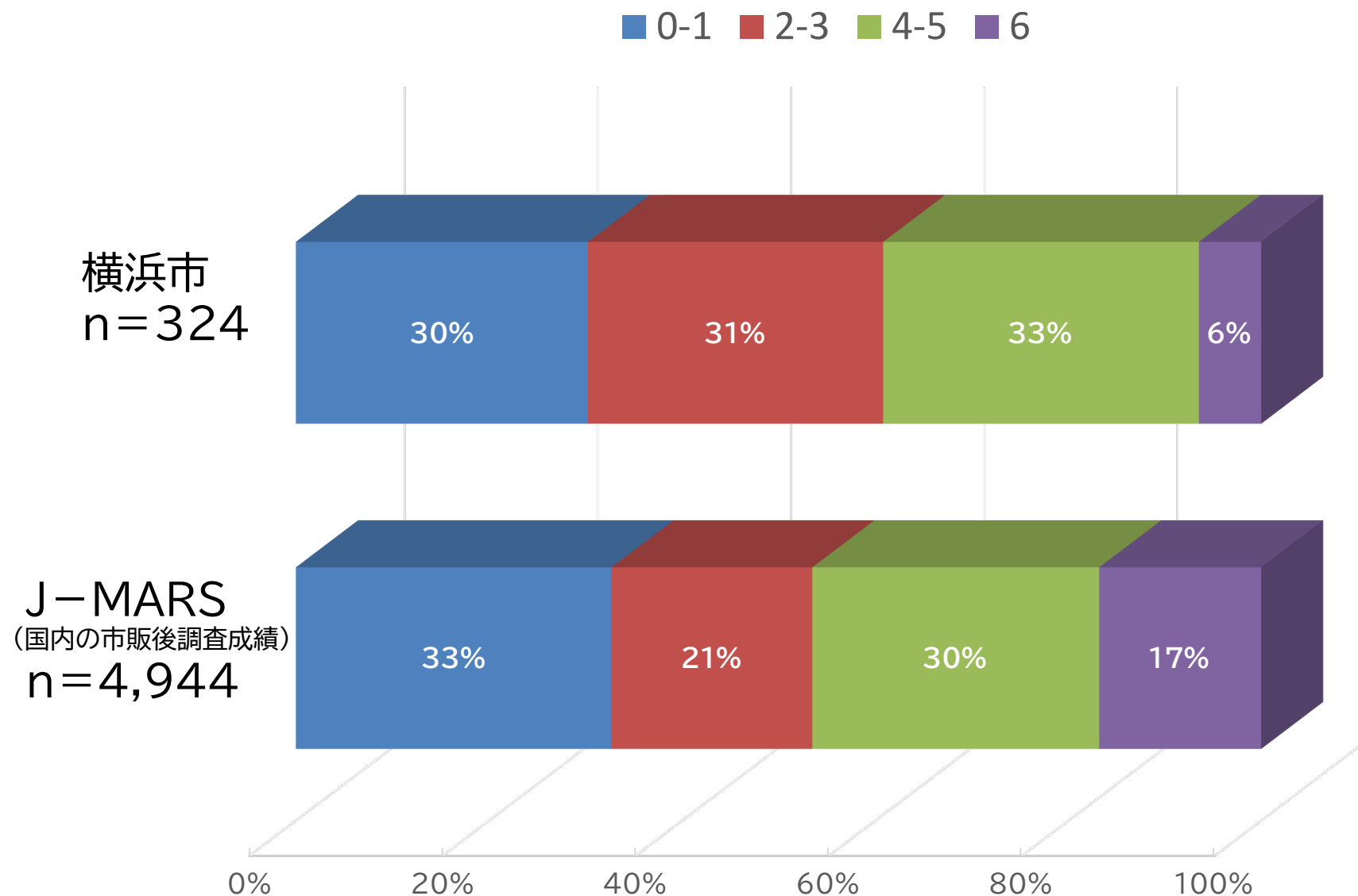
(%)

mRS	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【3か月後mRS】	30	31	33	6
市販調査成績 【3か月後mRS】	33	21	30	17

※mRS・・・障害の程度を表す基準のこと(下記表は日本脳卒中学会の資料を引用)

0	まったく症状なし
1	日常の勤めや活動は行える
2	身の回りのことは介助なしに行える
3	何らかの介助は必要とするが、歩行は介助なしに行える
4	歩行や身体的要求には介助が必要である
5	寝たきり等常に介護と見守りを必要とする
6	死亡

5-2 横浜市のt-PA治療実績と市販後調査実績の比較



6-1 令和6年横浜市のt-PA治療実績と国内外の市販後調査成績との比較

下記の表は、EUの市販後調査成績(SITS-MOST)と比較するために、横浜市の治療実績を再集計したもの(J-MARSの結果も再集計したものを引用)。再集計の対象患者は、「18歳から80歳まで」及び「搬送時のNIHSS(※)スコアが25未満」の2つの条件を満たす者。

(%)				
mRS【3か月後】	0-1	2-3	4-5	6
横浜市 【n=154(全症例数の約47%)】	43	36	19	2
J-MARS(国内の市販後調査成績) 【n=3,576(全症例数の約72%)】	39	23	27	12
SITS-MOST(EUの市販後調査成績) 【n=6,136】	39	31	19	11

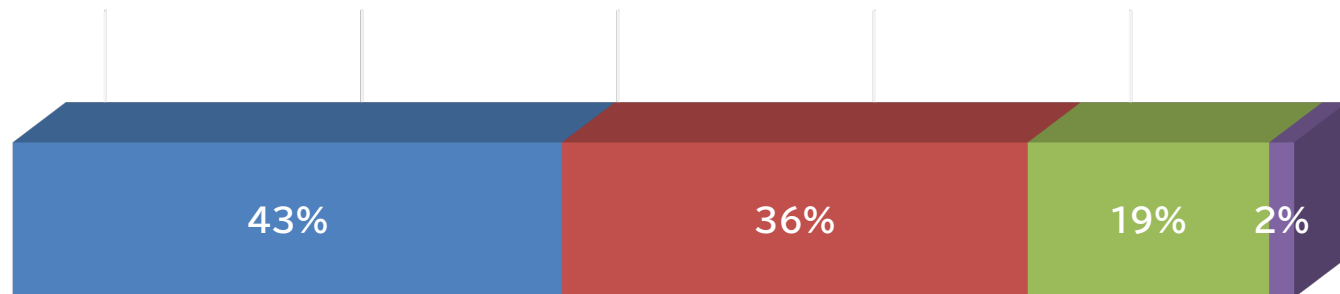
※NIHSS

世界共通で使われている神経症状の評価尺度の数値で、t-PA治療前に意識水準や麻痺の程度などの15項目についてチェックをして点数化したもの。症状がなければ0点、一番重症度が高いものは40点になる。

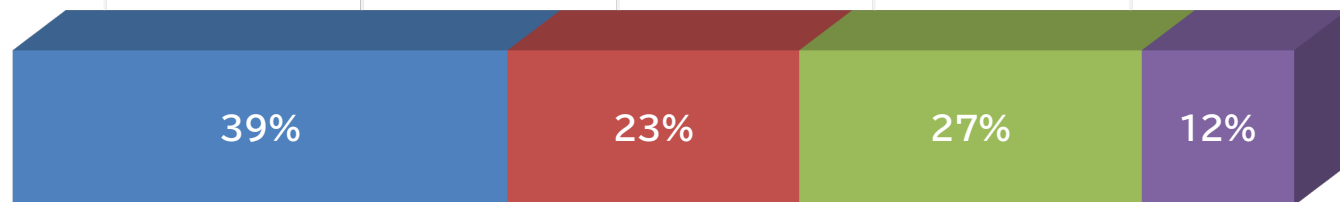
6-2 令和6年横浜市のt-PA治療実績と国内外の 市販後調査成績との比較

■ 0-1 ■ 2-3 ■ 4-5 ■ 6

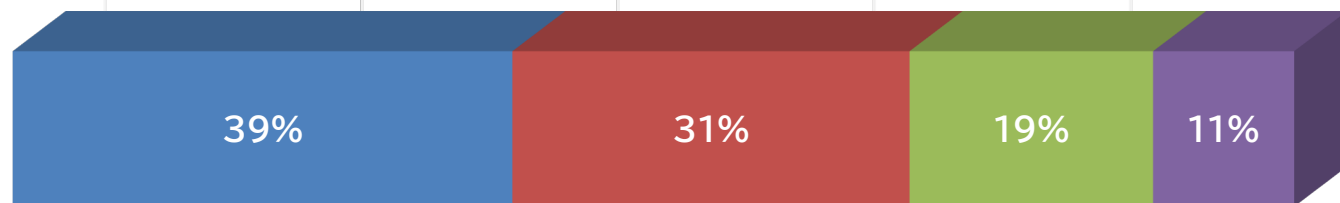
横浜市
n=154



J-MARS
(国内の市販後調査成績)
n=3,576



SIT-MOST
(EUの市販後調査成績)
n=6,136



0% 20% 40% 60% 80% 100%

7 その他

J-MARS(調査期間:平成17年10月～平成19年10月)

日本国内で行われた発症3時間以内の脳梗塞に対する
t-PA静注療法の市販後調査。

SITS-MOST(調査期間:平成14年12月～平成18年4月)

EUで行われた発症3時間以内の脳梗塞に対する
t-PA静注療法の市販後調査。